



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.38

平成28年
2月1日号

おかげさまで合併10周年



◆ 主な内容 ◆

- 合併10周年を振り返って 2～5
- 第11回喜多方市社会福祉大会
表彰者・児童生徒の福祉作文 6～9
- ふれあいだより 10・11
- よらんしょネット・
生活サポートセンター 12
- 介護職員初任者研修・福祉活動支援交付金事業・
除雪ボランティア 13
- 共同募金・歳末たすけあい募金御礼 14
- 寄付報告 15
- 介護教室のお知らせ・活動センター会員募集・
陶芸教室会員募集 16

平成18年1月4日に旧喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村の1市2町2村の社会福祉協議会が合併し、新喜多方市社会福祉協議会が誕生しました。

以来、地域の皆様、関係機関の皆様のご指導・ご協力をいただきながら、このたび10周年を迎えました。

社会福祉協議会

合併10年を振り返って



武藤 顕夫

喜多方市社会福祉協議会長

平成18年1月4日、喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村の社協が合併し新「喜多方市社会福祉協議会」が発足して以来、10年が経過しました。

合併後は、従来の「地域福祉事業」「介護事業」に加え、市から「地域包括支援センター」を受託し、事業規模の拡大と、職員も100名を超えるなどの組織を基に、合併時目標の「組織の充実」「経営の充実」「職員の一体感の醸成」の課題に加え、「危機管理の徹底」と「初期対応」、更に「報告・連絡・相談」の励行を職員に繰り返しお願いしました。

また、諸規程等の整備、会計や介護事務の効率化のための新たなシステムの導入、本所への事務の集中化等、更に給与体系の見直しを職員の理解のもと、実施することができました。合併記念として、平成18

年12月に映画「待合室」を喜多方プラザで上映し、立見席が出るほどの盛況であったことが思い出されます。

平成21年度には、旧市町村単位に「地域福祉懇談会」を開催し意見の集約を踏まえ、各地区に「ふれあい福祉協議会」の設立をいただき、現在、地域の特性を活かした地域福祉活動に取り組んでいただいております。なお、合併前の旧喜多方市社協時に設置されていた7つの支部社協でも同様の活動を続けていただいております。

平成22年度には「高齢者生産活動センター」30周年記念式典をお祝いしました。現在も7つのグループで積極的な活動が行われております。

平成23年3月11日の東日本大震災災害で多くの方々

は直ちに「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、関係団体の協力のもと、炊き出しの開始と義援金（約2千2百万円）や膨大な救援物資の受付を行い、また、円滑な支援のため避難所となった押切川公園体育館に「サブセンター」を設置し出来る限りの支援にあたりました。高校生や多くのボランティアの方々に救援物資の仕分けをいただくなど、各分野で多くのボランティアの方々をいただきました。あらためて、日本人の互助・共生

譲り合いの精神を実感できたことは、大変な事態の中にあって復興再生への光明を見たと感じたのは、私一人ではなかったと思います。

また、浜通りのボランティアセンターへの職員派遣やボランティアツアーの実施、避難してこられた大熊町社協等との連絡調整等出来る事は直ちに取組んだと認識しています。

この本会の災害対応は、その後の取組みへの大きな教訓となり、金山・只見町や熱塩地区豪雨災害等の支援活動に生かすことができ、今後も災害等のボランティア活動に積極的に参

“社協だより”でふりかえる

喜多方市社会福祉協議会合併10周年のあゆみ

喜多方市社会福祉協議会の合併から今年までの10年間のあゆみを、

これまで発行した「きたかた社協だより」とその時々で起きた社会の出来事や流行した言葉などと共に、ふりかえってみました。

平成17年 2005

合併前最後の「きたかた社協だより」です。7月25日に執行行われた5市町村社協合併協定・契約調印式の様子は、



- 個人情報保護法施行
- 福知山線脱線事故

平成18年 2006

1月4日 5市町村社協合併 初代会長に田中喜作会長が就任



記念すべき第1号！



4月 喜多方市 地域包括 支援センターを 設置し事業 開始



7月 武藤顕夫会長就任

- トリノ五輪で女子フィギュアスケート荒川静香選手が金メダル
- WBC(ワールドベースボールクラシック)で王JAPANが初代世界一に



12月 ふれあい社会福祉講座で映画「待合室」上映 喜多方プラザ大ホールを埋め尽くすほどの大盛況



平成19年 2007

- デイサービス職員間の交流事業を開始
- 社協制服の作製
- 高郷デイサービスの特別浴槽更新
- 新潟県中越沖地震募金活動

- 新潟県中越沖地震
- 郵政民営化
- 流行語「どげんかせんといかん」

加、協力していきたいと思
います。

これまでご協力いただき
ました多くのボランティア
の皆様にあらためて感謝を
申し上げます。

介護事業では、地域の施
設の増加や介護職員の不足
に鑑み、平成26年度にケア
プランセンター、ヘルパー
センターの統合、平成27年
度からは機能訓練やサービ
ス提供体制の充実等で、効
率的かつ質の高い在宅介護
事業に取り組んでおりま
す。

また、地域の介護職員不
足対応のため、昨年度より
介護職員初任者研修を行っ
ております。

地域包括支援センターで
は、介護予防のための活動
の種類や相談件数の増加に
伴い、人員を確保し介護予
防に精力的に取り組んでお
ります。加えて、在宅介護
教室や家族介護者のための
リフレッシュ事業等、各種
の介護に係る支援を行なっ
ております。

児童館運営では、時間の
延長、高学年の受入れなど、
時代に即した対応に努めて
おります。

地域福祉事業関連では、
合併前からの視覚障がい者
のための「声の広報事業」、

おもちゃ図書館の全地区実
施と遊具の充実、さらに高
齢者サロンの設置拡充、新
規事業として傾聴ボランテ
ィア養成講座開講と活動支
援、中高生や関係団体と一
体となった高齢者宅等の除
雪ボランティア活動の拡充
を行っております。

また、各種福祉団体の育
成支援や、社協活動の大き
な柱である日赤や共同募
金、歳末たすけあい運動の
協力等、数多くの福祉関連
活動を続け、多くの皆様の
ご協力にあらためて敬意と
感謝を申し上げます。

財源の大きな柱の一つで
ありました「一般会員会費
制度」については、時代の
流れを踏まえ平成27年度か
ら募金・協力の性格を有
した「福祉活動支援金」制
度に変更し、市民の皆様にご
理解とご協力を頂いてい
るところであります。

更に、賛助会員加入につ
いても、多くのご賛同を頂
き感謝申し上げます。
一方、制度の狭間にある
生活保護に至らない方々の
各種相談や就労支援のため
平成27年度から市より受託
した「生活サポートセンタ
ー」では、今日の社会経済
を反映し、当初の想定を大
幅に上回る相談が寄せられ

ております。

なお、「ふれあい社会福
祉講座」及び「喜多方市社
会福祉大会」につきまして
は、時代に即した講師をお
招きし毎年継続開催してお
りますが、今後もその充実
に努めてまいります。

以上、10年間の主な活動
状況を申し上げますが、
振り返って見ますと今後も
社会経済や市民ニーズへの
対応のため、事業の改革や
新たな事業の創設が予想さ
れます。

「福祉」とは「しあわせ」
や「ゆたかさ」を意味する
言葉であり、すべての市民
に最低限の幸福と社会的援
助を提供するという理念を
指す「(出典・ウィキペ
ディア)とされております。
本会の役員皆様には、
これまでのご努力、ご協力
に感謝申し上げますととも
に、福祉の理念を肝に銘じ
て「誰もが安心して生活で
きる地域づくり」を目指し、
引き続き市当局をはじめ関
係団体と連携のもと、活動
目的達成のため邁進しま
いりますので、今後とも市
民の皆様のご理解とご協力
をお願いし10周年の挨拶と
いたします。

(平成28年1月4日)



平成20年 2008

○4月
合併に伴う給与体系の見直し



○北京五輪で女子ソフト
ボール日本チームが悲
願の金メダル

○トルネード投法の野茂英雄投手が現役引退

平成21年 2009



○1月・2月
地域福祉懇談会(熱塩加納地
区、塩川地区)



○3月
国際ソロプチミストより車輛
1台寄贈



○4月
おもちゃ図
書館事業の
拡充(5地区
で実施)

○パソコンシステムの更新
○5月・6月
地域福祉懇談会(喜多方地区、
山都地区、高郷地区)

○8月
第2回地域福祉懇談会
○10月
5地区でふれあい福祉協議会
設立総会



○後期高齢者医療制度スタート
○リーマンショック
○朝青龍引退

○第45回衆議院議員総選挙で
民主党勝利、政権交代

○バラク・オバマ氏が第44代米大統領に就任
○裁判员制度施行

平成22年 2010



○6月
喜多方市高齢者生産活動セ
ンター30周年記念式典



「あんしんサポート」の
寸劇を制作、上演

○小惑星探査機「はやぶさ」
が小惑星「イトカワ」の微
粒子採集に
成功し大気
圏突入、地球
へ帰還



○子ども手当
支給はじまる

○高齢者の所在不明者
多数発覚

ニュースを見て、
涙した人も多かったとか

○チリ鉱山落盤事故で地下700mから
33名救出(事故発生から70日目)

平成23年 2011



○3月11日
東日本大震災

○災害ボランティアセンター
の設置

○義援金・救済物資の受付
(義援金22,021,108
円、救済物資628件)

○炊出しボランティア活動
(3月14日から4月20日
の38日間、10団体の協力
により被災地並びに地元
避難所においておにぎり
等を提供しました。)

○被災者の方に対する温泉
保養施設入場料の免除
(3,848名)

○4月
東日本大震災被災者へのデイ
サービスの無償提供(延28回)
○東日本大震災に係る緊急
小口資金特例貸付(総額
1,680万円)

○5月
新地町、南相馬市災害ボ
ランティアセンターへ職
員派遣(13名62日間)



○流行語大賞「絆」

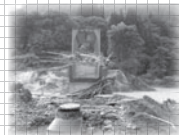
○6月・7月
いわき市への復旧ボ
ランティアアコーデ
ィネットワーク
(6日間174名)



○6月
役員・評議員定数等検討委員
会を設置。理事定数21名↓16
名。監事定数3名↓2名。評
議員定数45名↓33名に減員

○8月
新潟・福島豪雨災害の復旧
ボランティアアコーデ
ィネットワーク
(6日間66名)

○金山町・只見町
災害ボランティア
アセンターへの
職員派遣(7名
35日間)

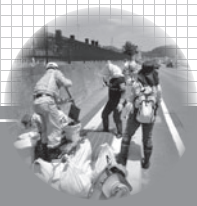


○3月
東日本大震災災害ボラン
ティアセンター閉所



平成24年 2012

○女子サッカーW杯でなでしこ
JAPANがアメリカを破り世界一に。
国民栄誉賞受賞。



○東京スカイツリーが
完成時の高さ634mに到達



○デイサービスセンターの
サービス提供時間延長

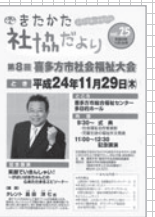
○5月
被災者支援相談会への協力

○7月・8月
九州北部豪雨災害に係る災
害ボランティアセンターへの
職員派遣(3名延24日間)

○8月
「大熊のつどい」
への協力



喜多方市赤十字奉
仕団による復興支援
芋煮会



○東京スカイツリー
開業

○女子レスリング吉田沙保里氏に国民栄誉賞
○松井秀喜氏、現役引退

○42年ぶりに
「原子の火」が消える

平成25年
2013



○傾聴ボランティア
 ティア養成講座
 座をスタート

○除雪ボランティア
 ティア事業を
 全地区で実施



○介護事業のあり方等検討委
 員会の設置

○熱塩地区豪雨
 災害に係る現地
 アセンター設置

○NHK大河ドラマ
 「八重の桜」放送

○長嶋茂雄氏、松井秀喜氏に国民栄誉賞
 ○三浦雄一郎氏、最高齢エベレスト登頂(80歳)
 ○富士山が世界文化遺産に登録

○流行語「アベノミクス」
 「お・も・て・な・し」
 「じぇいじぇい」

○楽天、初の
 プロ野球日本一

平成26年
2014



○5月
 喜多方ケアプランセンター
 へ熱塩加納ケアプランセン
 ターを統合

○5月
 喜多方ヘルパー
 センターへ塩川
 ヘルパーセン
 ターを統合

○介護職員初任
 者研修事業ス
 タート



○3月
 福島県社会福祉協議会主催
 による「明日へ向う社会福祉
 のつどい」が開催され、被災
 者支援・復興支援にご尽力
 頂いた15団体が表彰感謝を
 受けました。



○消費税が8%に
 ○ノーベル物理学賞トリプル受賞
 (赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏 青色LEDの開発)



○「笑っていいとも!」放送終了
 ○「ヤン坊マー坊天気予報」放送終了
 ○「富岡製糸場」世界文化遺産登録

平成27年
2015

喜多方市社会福祉協議会はこれからも市民の皆様のため、地域のために努力してまいります!



○4月
 ふれあいいきいきサロンが35箇所に
 拡充(併当初は10箇所)

○4月
 一般会員会費制度から、募金・協力
 金の性格を有した福祉活動支援金制
 度へ変更

○生活困窮者自立支援法施行による生
 活困窮者自立相談支援事業を喜多方
 市から受託し、本所に生活サポート
 センターを設置し活動開始

○10月
 フードバンク調印式

○11月
 福島県で開催された全国ボランティア
 アフェスティバルへ参加(53名)

平成28年
2016



○マイナンバー制度制定
 ○安保法成立
 ○最後のプルトレイン「北斗星」廃止

○金星探査機「あかつき」金星軌道投入成功
 ○ドラマ「下町ロケット」
 ○「爆買い」

第11回 喜多方市社会福祉大会

第11回目を迎えました喜多方市社会福祉大会は、平成27年11月18日（水）、来賓の方々、市内の福祉事業関係者、市民の皆様を併わせ、320名の参加をいただき、盛大に開催されました。

大会席上では、喜多方市の社会福祉向上並びに、共同募金運動に貢献された個人、団体にそれぞれ、表彰状、感謝状が贈られました。

また、市内小中学校生から募集した「福祉作文」の優秀作品5編の発表も行われ、次世代を担う児童生徒の福祉に対する考えや思いに参加者の皆さんも感心して聞いておられました。

本年度の記念講演は、元NHKアナウンサーで、現在はエッセイストとして活躍をされているらっしやいまず広瀬久美子さんをお招きし、「今 やさしさの時代」と題し、健康や介護に関すること、地域の絆など、助け合いの社会づくりについて、これまでの経験による具体的な事例をあげ、明瞭にそしてとても楽しい貴重なお話をいただきました。

この大会を契機として、福祉のまちづくりの推進を図ることを参加者一同誓い合いました。



【社会福祉大会会長表彰】

多年にわたり地域福祉の充実に尽くされた方・団体

- 武田 正江 様
- 高橋 幸雄 様
- 金子 文哉 様
- 大森 貞彦 様
- 五十嵐 英子 様
- 関柴ボランティアグループ
- すみれ会 様
- ひびきの会 様
- 心に虹のおはなし会 様

【社会福祉大会会長感謝】

社会福祉事業を理解し多額の寄付された方・団体

- 唐 橋 秀子 様
- 山本 豪 様
- 新井田 作 様
- 橋谷田 信芳 様
- 齋藤 美代子 様
- 佐藤 文子 様
- 片桐 ゆり子 様
- フォーク(株)会津工場 様



【福島県共同募金会長感謝】

共同募金運動を理解し、平成26年度において多額の寄付をされた方・団体

- 穴澤 芳子 様
- 穴澤 ヨシ子 様
- 五十嵐 英子 様
- 刃米 次郎 様
- 川上 輝次 様
- 神田 香 様
- 齋藤 重 様
- 齋藤 幸 様
- 佐藤 徳 様
- 菅谷 修一 様
- 鈴木 孝子 様
- 須藤 俊一 様
- 塚原 ハルイ 様
- 塚原 久子 様
- 林 健一郎 様
- 星 孝司 様
- 結城 志英吉 様
- 横島 裕子 様
- 若狭 光子 様
- 渡邊 寅之助 様
- 会津いいで農業協同組合 様
- 会津喜多方ライオンズクラブ 様
- 会津塩川ライオンズクラブ 様
- 医療法人昨雲会職員一同 様
- (株)サクマコーポレーション 様
- 喜多方市ボランティア連絡協議会 様
- (社)南町報徳社 様

【福島県共同募金会長感謝】

学校や街頭などで募金運動を行うなど、平成26年度において多大な貢献をされた学校・団体

- 喜多方市立 第一小学校 様
- 第二小学校 様
- 松山小学校 様
- 上三宮小学校 様
- 第三小学校 様
- 関柴小学校 様
- 熊倉小学校 様
- 豊川小学校 様
- 慶徳小学校 様
- 熱塩小学校 様
- 加納小学校 様
- 山都小学校 様
- 高郷小学校 様
- 第二中学校 様
- 第三中学校 様
- 会北中学校 様
- 山都中学校 様
- 高郷中学校 様
- 喜多方高等学校 様
- 喜多方東高等学校 様
- 耶麻農業高等学校 様
- 喜多方 仏教会 様
- ガールスカウト福島県第17団 様
- 山都町赤十字奉仕団 様

児童生徒の福祉作文集「ちいさなて」優秀作品のご紹介

喜多方市社会福祉協議会では、次世代を担う児童・生徒の皆さんが、福祉への理解と関心を持ち、ボランティア精神を育むため、市内小中学校をボランティア協力指定校として指定し、各学校ごとに行われる福祉教育を支援しています。こうした学校のボランティアや福祉活動及び地域や家庭での福祉体験を通して、日頃から感じていることを子どもたちの目線で綴った福祉作文をまとめ、児童生徒の福祉作文集「ちいさなて」として発刊しており、社会福祉大会にて来場者へ配布しております。

以下の作文5点は平成27年度の優秀作文として選考され、平成27年11月18日に開催した「第11回喜多方市社会福祉大会」の席上で発表されたものです。



小学生の部 優秀作品

私のウキウキ学校



喜多方市立豊川小学校
6年 古川 紗帆

私のボランティア体験。何かあるだろうと考えてみました。まっ先に浮かんだのが、朝のボランティア活動として行う掃除です。みんなが気持ちよく過ごせるようにと、豊川小学校の六年生は、毎朝校内の掃除をしています。玄関や昇降口、階段などみんなが使用する場所の掃除を行っています。朝八時〜八時十分までの短い時間ではありますが、毎日となると大変です。七時五十分頃までには下級生をつれて登校し、支度を終え、清掃場所にむかわなければなりません。掃除をしても、下級生が通っていて思うように掃除できない時や、雨上がりの日などで昇降口が泥で汚れていて大変な時などがあります。ああ大変だなあとか、昨日のスポ少の疲れがあつて体調がよくなって、今日はやるのが嫌だなと思う時も正直あります。そんな時私のマイナスな心をプラスにかえてくれるのが、「いつもありがとう。」

「きれいにすぐせるよ。ありがとう。」

「朝おそつじをしてくれてありがとうとつごさいます。」

というありがとうメッセージです。それらの言葉で大変だというマイナスの心がぐんぐんとプラスに変わり、よしやるぞと思えるのです。

「ありがとう。」

って言われない日は、なんだかがつかりします。でも、感謝されるからやるのだらうかと自分の心に問い直してみます。

誰だつてきれいな所で過ごしたいものです。私がお世話になっている先生方や、私より小さなかわいした後輩たちがウキウキして一日のスタートが切れるのであれば、それはステキなことなのではないかと思えてくるのです。みんながウキウキしていれば、学校全体がウキウキし、みんなが仲よく過ごせるウキウキ学校になるのではないのでしょうか。そう考えると、感謝されたとか感謝されないなんていうのは、小さなことに思えてくるのです。みんなが楽しくウキウキした気分で過ごせるかどうかは、六年生の朝のボランティアにかかっていると考えると、身が引きしまる思いがするのです。

「ありがとう。」

の言葉も、もちろんうれしいですが、ウキウキした楽しい学校をつくるために最高学年である私達六年生の責任は大きいと思います。その責任を果たせることが、うれしいなとも思います。あと半年、豊川小学校をウキウキ気分の楽しい学校にするぞ。私はそう誓い、今日もモップに力をこめます。



デイサービスセンターを

見学して



喜多方市立慶徳小学校
5年 加藤 陽風

わたし達は総合の授業で「福祉」をテーマに学習しています。二期は、実際に体験しようとする地域にある施設に見学に行きました。「慶徳デイサービスセンター」で、お年寄りの方々と交流して、福祉について考えるきっかけを作ることにしたのです。

見学に行く前に、学級で計画を立てました。かくし芸を発表したり、インタビューをしたりすることにしました。わたしは折り紙チームになりました。初めは本を見ながら練習しました。休み時間に練習したり、家でも祖父母に教えてもらったりしながら練習を重ねました。そして、やっと本を見ないで、きれいにできるようにになりました。わたしの選んだ折り紙は「バクバク」という折り方で、指を入れて作品を動かせるので、お年寄りの方も喜んでくださるような気がしました。

わたしのチーム以外のあやとりチームやマジックチームも順調に練習が進み、いよいよリハーサルになりました。リハーサルでは、きんちようして声が小さくなりましたが、何とかできました。クラス

のみんなに発表するだけでこんなにきんちようするのに、本番は知らない人の前で発表します。本当にできるかなと少し不安にもなりました。

見学当日の日がやってきました。中にはいるとたくさんの方がいました。最初にお年寄りの方からいろいろなお話を聞きました。九十才を過ぎてても元気なまよしさんは、お話も楽しくて明るい方でした。ほかの方も、

「ここに通っているいろいろな人と会話をするのが楽しい。」

と言っていました。わたしも学校での楽しみの一つは友達のおしゃべりや遊びなので同じだと思いました。このセンターでお昼を食べたり、お風呂に入ったり、みんなとお話をしたりするほか、ちよつとした行事もあるそうです。何才になっても、おいしく食事をし、積極的にいろいろなことに関わるのが健康につながり、また幸せにも結びつくのだと思いました。そしていよいよかくし芸の発表になりました。どのチームも上手にできました。わたしはリハーサルの時よりきんちようしましたが、おじぎをしたときにもっと大きな拍手がはげましになり、上手にできました。

わたしはこの見学を通して福祉とは幸福な気持ちを作ることではないかと思いました。何才になっても「今日は幸せだった」と思って眠りにつけることのできる世の中を作っていくことが福祉ではないかと思います。

恩返し「ゴミ拾い」



喜多方市立堂島小学校
6年 関本悠太郎

僕が所属する陸上スポーツでは、年に二回、ボランティア清掃を行っています。日頃練習で使用しているグラウンドや公園のゴミ拾いを行う活動です。正直なところ僕は、

「ゴミ拾いなんて面倒くさいなあ。」と、不満でいっぱいでした。ゴミ拾いなんて陸上と関係ないのに、なぜやらなくてはいけないのかと思ったからです。しかし僕は、

「日頃から練習で使用しているグラウンドに、感謝の気持ちをこめて恩返しをしましょう。」という監督の言葉に、はっと我に返りました。

僕達は、このグラウンドのお陰でのびのびと練習ができるのです。当たり前のように使っていたグラウンドでしたが、改めて恵まれた環境だったのだと気づき、感謝の気持ちがこみ上げてきました。素直に「ありがとう。」という気持ちが芽生えたと、自然とゴミ拾いに取り組む意欲も湧いてきました。

「たくさん拾って、恩返しをするぞ。」僕は、張り切ってゴミ拾いを始めました。いざゴミ拾いを始めると、グラウンド周辺のおちこちからゴミが見つかりました。空き缶や空きびん、ペットボトル、それにお菓子やあめの袋など、あまりのゴミの多さに驚いてしまいました。しかも、それらのゴミは、僕達が普段からよく口にしている食べ物や飲み物だという事に

気づき、とても残念な気持ちになりました。実際に僕も、公園で遊んでいる時にお菓子の袋が風にふかれて飛ばされてしまった事がありました。急いで追いかければ拾えたはずの袋ですが、僕は、追いかけてもそのままと帰ってしまったのです。たとえ、ゴミを捨てようという気持ちもなくても、ゴミを持ち帰らなかった僕の行為は、結果として公園を汚してしまっただけです。通い慣れた公園だったので、「どうせ小さいゴミだから大丈夫だろう。」

という勝手な気持ちが芽生えてしまったのでしよう。たとえ小さなゴミでも、積み積もり驚く程の量になってしまふのです。

安全に気持ちよく公共の施設を利用するためには、一人一人のマナーが何よりも大切だと感じました。感謝の気持ちで施設を利用し、人にも自然にも優しい心を持つことができれば、このようなゴミもなくなるはずで。

僕は、ボランティア清掃を体験し、その地域で暮らす一人一人として、この活動は決して特別なものではなく、当たり前を取り組みなのだ実感しました。自分達が往んでいる地域を、より良い環境にしようと思う気持ちが、ボランティア活動の第一歩ではないでしょうか。小学生の僕にだって、きつと社会の役に立つ活動ができるはずで。自分の心がけ次第で、明るい社会が築けるかもしれないと考えただけで、勇気と希望が湧いてきます。

僕は、ゴミ拾いが終わったグラウンドを見た時の、清々しい気持ちをいつまでも忘れずに練習に励みたいで。そして、これからも地域の明るい未来のために、積極的にボランティア活動に参加していきたいと思っています。

ボランティア体験で

学んだこと



喜多方市立第三中学校
3年 萩原 結菜

初めは緊張してなかなか話せなかったけど、利用者の方が話しかけてくれてだんだん話せるようになりました。お昼の時は一人一人違う食べ物ができることには驚きました。中学校では、みんな同じだけ出てくる量だったり普通のご飯だったり、軟らかいご飯だったり、飲み物では牛乳だったり、ヤクルトだったり様々でした。午後には、輪投げをして楽しく過ごすことができました。

利用者の中に印象に残っている方がいらつしやいます。十三歳、十四歳の頃に体験した戦争の話や、昔の学校の話などたくさん話してくれました。一番心に残ったのは、「戦争も良い思い出だ。なぜなら、こうしてあなたに話せているから。」とおっしゃったことです。すごい方だなあ、と思いました。丁寧にゆっくりと私に分かるように説明してくれました。また、震災で喜多方に避難してこられたそうです。ふるさとはなかなか行けず、お墓参りができないことが今の一番の心残りだとおっしゃっていたので、いつか行けるように願っています。

は、恵まれた環境で過ごされているんだなあと感じました。利用者の方への接し方を見ていて勉強になりました。笑顔で、頷きながら、利用者の方と同じ目線になって話していました。

デイサービスでは、話すことが困難な方でも、一生懸命話してくれて、嬉しい気持ちになったし、来て良かったと思えました。「百歳まで生きるのが目標。」と言っている方がいたので叶えてほしいです。デイケアの方でも、「百歳まで生きて下さい。」と言ったら、「頑張る。」と言ってくれた方がいました。皆さんに長生きしてほしいと思いました。

二日間ボランティアを体験して、とても良い体験になりました。少子高齢化が問題になってきているけれど、利用者の方の笑顔をたくさん見られたので、それを見たら、少子高齢化は仕方ないと思ったり、お年寄りが元気で過ごしているならいいかな、と思いました。今までの考え方は違った考えができました。「ボランティアに来てくれてありがとう。」といわれすぎて嬉しかったです。

自分も高齢者になったとき、いろんな体験を若い人たちに話せるように、恥ずかしくない生き方をしなきゃいけないと思います。この二日間で少し成長できた気がします。これからも高齢者を大切に、自分ができることから高齢者のためになることをしていきたいと思いました。楽しさも、難しさも両方味わえた良い体験になりました。これからの人生に生かしていきたいです。

ありがとう



喜多方市立会北中学校
2年 安齋 優花

私は夏休みにサマーショートボランティアに参加しました。そこで私は二日間いろいろな体験をし、これからの人生を生きていくために大切な事を学びました。

一日目は車イス体験や車輪見学、利用者の方とお話ししたりしました。私はこのボランティアに三回程参加しています。

ある利用者の方が、「あれ？前にも来てくれたよね？」と覚えていてくれた方がいました。すごくうれしかったです。その言葉が私の心を動かしました。勇気を出して、いろいろな方に話かけることができました。利用者の方と話が終わると紙芝居の練習をしました。班の人と協力してできました。

二日目はグループホームに行きました。グループホームは認知症の方が利用している所です。ここでは認知症についていろいろ学ぶことができました。その後、グループホームの利用者の方と話をしました。ある利用者の方が

「暑い中大変だったでしょ？ごころう様。ありがとう。」

と言ってくれました。「ありがとう。」と言われとてもうれしかったです。その後、紙芝居を披露しました。緊張したけど大きな声でハキハキと披露することができました。終わると、利用者の方から、「ありがとう。」

と言われました。うれしかったです。二日間の体験が終わると先生からほめていただき、サマーショートボランティアに参加できてよかったと思います。

私は、この夏休みの間に自主的に友達とグループホームに行きました。利用者の方はもちろん、施設の方も喜んでくれました。たくさん「ありがとう。」と言われました。とてもうれしかったです。

私は、このボランティアで体験し、学んだことは『感謝されるうれしさ』です。たくさんの方から「ありがとう。」と言われ、心が温かくなりました。日常生活の中でも人に優しくすることを目標とし、これから頑張っていこうと思えました。すばらしい体験をさせていただくことができました。

この経験を生かしてこれからの生活に役立てていきます。





喜多方
地区

ゆず湯で身も心もぽかぽかに

総合福祉センターでは、12月22日の冬至の日にはゆず湯を提供しました。冬至のことを中国の言葉で「一陽来復(いちようらいふく)」と言うそうです。衰えていた太陽の力が冬至を境に再び勢いを増し、新年が来るという意味のほかに、悪いことが続いた後に幸運に向かうという意味も込められています。もちろんゆず湯には血行を促進して冷え性を緩和したり、体を温めて風邪を予防したり、果皮に含まれるクエン酸やビタミンCによる美肌効果もあります。ゆず湯でほっこり温まって、新たな気持ちで新年を迎えました。



高郷
地区

一人暮らし高齢者へ友愛訪問

12月7日、高郷町赤十字奉仕団では地域の一人暮らし高齢者の安否確認を兼ねた友愛訪問とお弁当配食サービスを計画し、団員が調理した作り立てのお弁当を対象者の皆さまへお届けいたしました。お元気で過ごされますようにと言葉をかけながらの訪問に、皆さん口々に『今年は雪が少なくいいな』が挨拶がわりの言葉となっております。



塩川
地区

楽しく滑って!飛び跳ねて!!

毎週金曜日に塩川保健福祉センターで開催しているおもちゃ図書館に、エア遊具が仲間入りしました。今までにない大きなおもちゃに子どもたちも大喜びで、滑ったり飛び跳ねたりと元気な声が響き渡っています。

みなさん、おもちゃ図書館にぜひ遊びに来てください!



熱塩加納
地区

手品と昔ばなしで楽しく 人権擁護委員のみなさんありがとう

喜多方市内の人権擁護委員のみなさんは一年に一回、市内の福祉施設を訪問しており、今年は『夢の森デイサービスセンター』へ来ていただきました。はじめに、人権擁護委員の活動内容のお話を聞いたあと、委員全員とデイサービスの利用者が一緒に歌をうたって楽しい時間が始まりました。その後、昔ばなしや手品の披露などがあり、驚きと楽しさで利用者の皆様の表情がとても輝いて見えました。是非、また来てほしいと願っております。

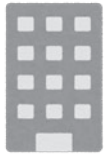


高郷
地区

かたくり荘へ清掃のボランティア

12月15日、かたくり荘へ高郷町赤十字奉仕団の皆さんが暮れの大清掃に訪れ、窓ガラスや床を磨いたりクモの巣を掃ったりと、ふだん手の届かないところをお掃除していただきました。例年に比べこの季節にはめずらしく雪も無く、お掃除もはかどりきれいにさせていただきました。





ふれあい

山都地区

高校生のレクリエーション

福島県立耶麻農業高等学校のライフコーディネート科の生徒たちが、山都デイサービスセンターでレクリエーションとしてダンスを披露してくれました。

3年生の着ぐるみで歌に合わせたかわいい踊りと、2年生のきれいな衣装でのフラダンスに、利用者の皆様は手を叩いてリズムに乗り、楽しい時間を過ごされました。



山都地区

つるし雛のプレゼント

舘原いきいきサロンより、しゃくなげホームへ手づくりの「つるし雛」を寄贈していただきました。

つるし雛は、端布で作った鳥や花などの小さな人形やお飾りをひもで繋いで吊るすもので、衣食住に困らないようにとの願いを込めて飾られるものだそうです。

施設が華やかに彩られ、来所される方にも大変喜ばれています。



熱塩加納地区

世代間交流そば会 こどもと親とじいちゃんばあちゃんと

町内の高齢者と未就学児童・保護者の世代間交流事業がふれあい福祉協議会主催で開催されました。

こどもたちがおもちゃで遊ぶ姿を見ている高齢者は、自然に笑みがこぼれていました。また、おばあちゃんが保護者に、「どっからきたんだ?」などと話しかける場面もみられました。

その後、ふれあい福祉協議会と民生児童委員の皆さんも加わって、世間話をしたり、遊んだり、祭り囃子保存会のみなさんによる演奏を聴いたりして交流しました。

昼食には、みんな待ちに待っていたそばをおいしくいただきました。



塩川地区

楽しいクリスマス会

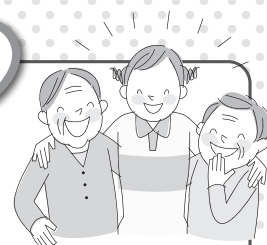
今年も塩川デイサービスセンターでのクリスマス会に多くのボランティアの方々が余興や歌や踊りなどを披露してくださいました。

訪問いただいた皆様、ありがとうございました。

- 9日(水) 民話の会
- 10日(木) COOPあいづ
- 11日(金) 豊川公民館(フラダンス)
- 14日(月) 湯川スポーツ民謡
- 15日(火) はとぼっぽ



“よらんしよネット”



喜多方市地域包括支援センターだより

元気を応援!!

あなたの街の 「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住みなれた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

行政、介護サービス事業所、病院、警察など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

在宅介護を続けるコツ



介護を楽にするコツは、「一人ががんばりすぎないこと」が大切です。これは決して介護を放棄することではなく、ご本人ができること・やろうとしていることまで手を出さないことです。危険を伴うことは別として、介護に携わる時間を短くし、介護者自身の生活に十分なゆとりをもてる方法を考えましょう。

そのヒントは下記の通りです。参考にしてみてください。

- 1. 時間がかかっても、できることは見守りましょう。
- 2. できないことは無理にやらそうとせず、一緒に行ないましょう。
- 3. 危険なこと以外は、見守りましょう。
- 4. できなくなったことを説得や訓練で治すのはむずかしいです。
- 5. 一人で抱え込まず、周りの方の力も借りましょう。
- 6. 介護者の生活パターンはできる限り変えないようにしましょう。
- 7. できるだけ多くの介護サービスや制度を利用しましょう。
- 8. 介護者も自分の時間をつくりましょう。

介護者が健康でなければ在宅での介護を継続することはできません。介護者の負担を軽くすることが在宅介護を続けるコツになります。認知症ねっと<https://info.ninchisho.net/care/c50/>より参照

脳トレ!

毎日の思い出し トレーニング!

- ① 今日は何曜日?
- ② 今日は何月何日?
- ③ 昨日食べた夕飯は?
- ④ 昨日着ていた服は何?
- ⑤ 昨日会った人の顔と服装、名前等思い出して。
(TVで見た人でも良いです)

生活サポートセンターからのお知らせ

仕事や暮らし、お金のことなどでお困りの方の相談窓口を平成27年4月に開設しました。

来所・訪問などにより相談をお受けし、一緒に解決に向けてサポートします。

どうやって仕事を見つけたらよいかわからない

子どもの進学費用について悩んでいる



たくさん困ったことがあり、何から手を付けてよいかわからない

収入が少なく今後の生活に不安がある

喜多方市役所の手続窓口(税、保険や年金、子ども・家庭など)で生活にお困りの方が希望すれば、生活サポート相談につながるよう連携を図っています。ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

秘密は厳守します。どうぞお気軽にご利用ください。

ご相談・お問い合わせは ☎0241-23-3231 喜多方市生活サポートセンターまで



お知らせ - INFORMATION 1 -

ご報告

～これからの活躍に期待します!～ 「平成27年度介護職員初任者研修」

介護業界における職員不足が全国的な問題になっていますが、喜多方市内でも介護施設や事業所等での人材不足が深刻化しています。

本協議会では、この問題の解決に寄与するため、昨年度に引き続き福島県社会福祉協議会の補助事業を活用し、介護職員初任者研修を実施しました。

市内外から19名の方が受講され、134時間(25日間)の講義・演習、実習に取り組み、修了テストに合格し、閉講式で武藤会長から修了証明書が交付されました。



地域の福祉事業に
役立てられています!

福祉活動支援交付金事業について

平成27年度に一般会員制度から募金・協力金の性格を有した福祉活動支援金制度に変更し、その財源をもとに住民自らが地域の絆を深める事業に対して助成する交付事業を新たにスタートし、これまで4行政区より申請がありました。

今回、交付を受け事業を行った塩川地区の第12行政区の声をお届けします。



私達の12区では、一昨年より地域のコミュニティ活動推進施策として、喜多方市保健センターより講師を招き、誰にでも楽しく参加できる健康講話や血圧測定、簡単なレクリエーションを年2回開催し36名の参加を頂きました。きっかけは、福祉活動支援交付金事業であります。住民自らが地域の繋がりを深め、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを行う活動に対し交付金を交付する事業ではありますが、町内会の親睦に大きく寄与しています。

※福祉活動支援交付金事業に関するお問い合わせは、本会の本所・支所にてお受けしております。

平成27年度 除雪ボランティア事業

本協議会では地区民生児童委員協議会と共催で、市内全5地区での除雪ボランティア事業を実施いたします。

この事業は、一人暮らし等高齢者宅の除雪活動を行うことにより、除雪作業の負担軽減と、中学生・高校生等のボランティア活動に対する理解を深めることを目的とし、各関係機関と連携し行います。

実施日程等は下記の通りとなります。

(今後の降雪の状況により、中止される場合もあります。)



地 区	日 程	問い合わせ先	
喜 多 方 地 区	平成28年2月13日(土)	本所	☎0241-23-3231
熱塩加納地区	平成28年2月 6日(土)	熱塩加納支所	☎0241-36-3112
塩 川 地 区	平成28年2月20日(土)	塩川支所	☎0241-27-3948
山 都 地 区	平成28年2月13日(土)	山都支所	☎0241-38-3100
高 郷 地 区	平成28年2月20日(土)	高郷支所	☎0241-44-7111



平成27年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

御 礼

平成27年度赤い羽根共同募金運動が10月から12月の3ヶ月間にわたり、「助け愛 支え愛 愛をつなげる 赤い羽根」をスローガンに全国一斉に展開されました。

本市におきましても、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なるご協力を賜り、本年度も無事に終了することができました。

皆様には、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた寄付金は、地域で援助を必要としている方への激励や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後皆様様の善意を様々なかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、「自分の町を良くするしくみ」である共同募金運動への変わりぬぐご支援とご協力をよろしくお願いたします。

平成28年2月

共同募金会喜多方市支会長 山口 信也
喜多方市社会福祉協議会長 武藤 顯夫



平成28年1月20日現在

地 区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,486,841円	1,922,090円
熱 塩 加 納 地 区	442,683円	600,947円
塩 川 地 区	2,221,408円	1,195,580円
山 都 地 区	824,748円	623,945円
高 郷 地 区	383,383円	285,500円
合 計	8,359,063円	4,628,062円

一市民さまからの
お手紙



毎年、あたたかいお手紙が添えられた善意のご寄付が社会福祉協議会に届けられます。

本会では「一市民さん」とお呼びし、ありがたくいただいております。

今年もお手紙を頂戴し、お元気な様子が伺えてうれしく思います。

職員一同、一市民さんの思いに応えられるよう、地域福祉向上に努力してまいります。

今年もありがとうございます。

朝夕めっきり寒くなりましたね。

今は山々の紅葉が素晴らしいですね。

職員の皆様、常日頃お勤め、本当にご苦労さまです。

介護に携わる職員の方々が、重労働にもかかわらず、すばらしい笑顔で、やさしく接する姿に心うたれます。くれぐれも健康に気を付けられて、毎日を元気に頑張ってください。

最近では、介護報酬が引き下げられ、賃金の安さから慢性的な働き手不足となり、働き手の不足が現場の忙しさを加速させ、丁寧なケアが出来ないと悩んで辞める人も増加していると、大変な時代ですね。

介護職員が離職せずに済む環境作りをぜひとも考えてほしいものです。

ご苦労をおかけしますが、これからも高齢者の方々の面倒をお願いします。

私もお陰様で今年も元気に過ごせました。年金の中から僅かですが送らせていただきます。何かの足しにして下さい。

時節柄、職員の皆様、ご自愛のほど願いますよ。

平成27年11月

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
(平成27年10月1日～12月31日受付分) (順不同・敬称略)

一般寄付

喜多方地区

- ・一市民
- ・慶徳公民館まつり
- ・岩月町下台 山本豪
- ・株式会社たまのや
- ・松山町村松第二区 唐橋秀子
- ・会津喜多方商工会議所女性会
- ・戸田 栄祐 (花瓶一基)
- ・東四ツ谷サロン (花瓶一基)
- ・花園町 別府 俊子 (タオル100本)
- ・熱塩加納地区 (タオル50本)
- ・半在家 原 怜子 (ふきん80枚)

喜多方地区

ご遺志による寄付

- 新町 五十嵐由夫
- 上三宮町上三宮二区 渡部 良雄
- 関柴町上勝 居内 大義徳
- 慶徳町豊岡 坂内 家義徳
- 塗物町 飯塚 敏弘
- 岩月町治里 飯塚 敏弘
- 北町 高橋 潤平
- 松山町村松第三区 新田 三雄
- 東四ツ谷 飯塚 敏弘
- 関柴町中里 飯塚 敏弘
- 松山町東桜が丘 飯塚 敏弘
- 関柴町京出 飯塚 敏弘
- 南会津町 飯塚 敏弘
- 岩月町下台 飯塚 敏弘
- 岩月町上岩崎 飯塚 敏弘
- 北町 飯塚 敏弘
- 豊川町一ノ堰二区 飯塚 敏弘
- 御清水 飯塚 敏弘
- 岩月町天井沢 飯塚 敏弘
- 松山町百目三貫分 飯塚 敏弘
- 新道 飯塚 敏弘
- 豊川町太田 飯塚 敏弘
- 岩月町稲村 飯塚 敏弘
- 関柴町上高瀬 飯塚 敏弘
- 花園町 飯塚 敏弘
- 熊倉町熊倉下 飯塚 敏弘
- 上三宮町上三宮二区 飯塚 敏弘
- 豊川町一ノ堰二区 飯塚 敏弘
- 慶徳町真木 飯塚 敏弘
- 熊倉町熊倉上 飯塚 敏弘
- 松山町松が丘 飯塚 敏弘
- 千葉真野田市 飯塚 敏弘
- 会津若松市 飯塚 敏弘
- 愛知県豊田市 飯塚 敏弘
- 松山町村松第一区 飯塚 敏弘
- 松山町治里 飯塚 敏弘
- 熊倉町小沼 飯塚 敏弘
- 関柴町関柴 飯塚 敏弘
- 新町 佐藤 吉摩
- 上三宮町上三宮二区 高野 行雄
- 関柴町上勝 武藤 健次
- 慶徳町豊岡 吉田 吉晴
- 塗物町 渡部 英治
- 岩月町治里 小澤 英治
- 北町 瓜生 忠志
- 松山町村松第三区 東条 富子
- 東四ツ谷 渡部 正道
- 関柴町中里 鈴木 均
- 松山町東桜が丘 岩橋 好高
- 関柴町京出 板橋 好高
- 南会津町 小椋 好高
- 岩月町下台 小椋 好高
- 岩月町上岩崎 小椋 好高
- 北町 小椋 好高
- 豊川町一ノ堰二区 小椋 好高
- 御清水 小椋 好高
- 岩月町天井沢 小椋 好高
- 松山町百目三貫分 小椋 好高
- 新道 小椋 好高
- 豊川町太田 小椋 好高
- 岩月町稲村 小椋 好高
- 関柴町上高瀬 小椋 好高
- 花園町 小椋 好高
- 熊倉町熊倉下 小椋 好高
- 上三宮町上三宮二区 小椋 好高
- 豊川町一ノ堰二区 小椋 好高
- 慶徳町真木 小椋 好高
- 熊倉町熊倉上 小椋 好高
- 松山町松が丘 小椋 好高
- 千葉真野田市 小椋 好高
- 会津若松市 小椋 好高
- 愛知県豊田市 小椋 好高
- 松山町村松第一区 小椋 好高
- 松山町治里 小椋 好高
- 熊倉町小沼 小椋 好高
- 関柴町関柴 小椋 好高

塩川地区

- 新村 加藤 文吉
- 野辺沢 荒井 孝
- 東京都品川区 花方 武雄

山都地区

- 木曾 齋藤 敏夫
- 高橋 昭夫
- 島倉 昇
- 渡部 和子
- 高橋 和子
- 鈴木 洋子
- 高橋 洋子
- 生江 春雄
- 遠藤 千春
- 藤沢 千春
- 東都小平市
- 寺内 博之
- 木曾 博之
- 河原田 芳治
- 舟岡 芳治
- 下村 芳治
- 撫木 芳治
- 木曾 芳治
- 西常世 芳治
- 新井田 芳治
- 西鏡召 芳治
- 別府 芳治
- 12区 芳治
- 崎玉県 芳治
- 中屋敷 芳治
- 湯川村 芳治
- 貝沼村 芳治
- 東鏡召 芳治
- 竹屋 芳治
- 下遠田 芳治
- 下利根川 芳治
- 東常世 芳治
- 藤の木 芳治
- 馬場新田 芳治
- 会津若松市 芳治
- 万力 芳治
- 上原 芳治
- 新井田 芳治
- 第六 芳治
- 藤の木 芳治
- 上窪 芳治
- 大木 芳治
- 13区 芳治
- 源太 芳治
- 小出 芳治
- 須藤 芳治
- 塚原 芳治
- 川窪 芳治
- 一重 芳治
- 真壁 芳治
- 大塚 芳治
- 大塚 芳治
- 江花 芳治
- 渡部 芳治
- 岩淵 芳治
- 川井 芳治
- 大川 芳治
- 藤の木 芳治
- 佐藤 芳治
- 田保 芳治
- 大久保 芳治
- 藤の木 芳治
- 帆田 芳治
- 安藤 芳治
- 藤井 芳治
- 渡部 芳治
- 佐藤 芳治
- 佐藤 芳治
- 鈴木 芳治
- 佐々木 芳治
- 田中 芳治
- 小野 芳治
- 佐藤 芳治
- 弦野 芳治
- 穴沢 芳治
- 齋藤 芳治
- 高橋 芳治
- 高橋 芳治
- 渡部 芳治
- 高橋 芳治
- 鈴木 芳治
- 高橋 芳治
- 生江 芳治
- 遠藤 芳治
- 藤沢 芳治



ハロウィン仮装パレードの子供たちが届けてくれました！

エコボランティアの輪が広がります

本会では、ペットボトルキャップ・アルミ缶・プルタブの資源回収を福祉事業に活かす取り組みをしています。

今年度も多くの皆様にご協力いただきました。

ご協力いただいた皆様

- 特別看護老人ホーム ※順不同・敬称略
- シャユージ苑
- サポネット
- ハロウィンのこどもたち
- 本田金属技術(株) 喜多方工場
- 耐伸建設(株)
- 山都小学校
- ほか市民の皆様にも多数ご協力いただきました。
- ありがとうございます。

- 木曾 高橋 新太郎
- 一ノ木 月岡 幹雄
- 一ノ木 中村 勉
- 木曾 高橋 勝行
- 河原田 森 貴弘
- 高郷地区 井上 清一
- 塩坪 穴澤 博英
- 川井 菊地 哲也
- 西会津町 井上 清一



お知らせ - INFORMATION 2 -

平成27年度 春の在宅介護教室 ～男のための介護教室～

高齢者等を在宅で介護しているご家族や、介護・福祉に関心のある方を対象に、介護方法や介護サービス等に関する情報並びに介護者自身の健康管理に関する知識等を提供し、在宅介護の継続・向上や介護予防を目的として在宅介護教室を開催します。

参加対象	・これからの介護に不安を感じている方 ・介護・福祉に関心のある方 ・家族を在宅で介護されている方 ※今回の教室は男性のみの参加とさせていただきます	主な内容	・上手に介護サービスを利用しましょう(制度とお金の話) ・簡単介護のワンポイント(実技講習) ・認知症を理解するには
日程	平成28年3月5日(土)9:30～12:00	募集人員	20名
会場	喜多方市総合福祉センター 喜多方市字上江3646-1 ☎0241-23-3231	参加費	200円 (資料代)
		申込み	3月2日(水)までに社協本・支所まで電話でお申込ください

喜多方市社会福祉協議会 本所(喜多方) ☎0241-23-3231 熱塩加納支所 ☎0241-36-3112 塩川支所 ☎0241-27-3948
山都支所 ☎0241-38-3100 高郷支所 ☎0241-44-7111

平成28年度 新会員募集のお知らせ

募集期間 H28.3.1～H28.3.31 **募集資格** 市内在住者で60歳以上
募集人員 各グループ 10名程度 **費用** 年会費及び材料費

☆**陶芸グループ**
(週2回～1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)
地元「宮津の粘土」などを使って花器や茶碗、皿などを作陶し、販売しています。

☆**手芸グループ**(毎週火曜日)
吊るし雛・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作販売しています。

☆**押し花絵グループ**
(月2回程 金曜日)
乾燥花々の押し花で、葉や額絵、ブローチ、絵ローソクなどを製作販売しています。

☆**織物グループ**(毎週木曜日)
卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作販売しています。

☆**園芸グループ**(毎週火・木曜日)
圃場や温室にて花木を栽培し、販売をしています。

☆**菌茸グループ**
(春から秋の40日程度)
椎茸を栽培し、原木の菌打ち作業や生椎茸・乾燥スライス加工などにして販売しています。

☆**わら工芸グループ**
(10月から12月を中心とした50日程度)
わらやすげを使って、しめ縄や玄関飾り・猫ぢぐらなどを製作販売しています。

※現グループ数7グループ、他に2つのサークルがあり会員在籍者158名で、グループ活動のほかに生産活動センターまつり(6月)各種イベントへの出展や体験教室グループ研修・交流会など、年間を通じて楽しく活動をしています。

■会費等は各グループにより異なりますので、詳細については、お問い合わせ下さい。

送迎バス運行コース

行き センター(8:45発)～①北町郵便局前～②出雲神社前～③リオンドール仲町店前～④市役所前～⑤三方石前～⑥図書館前～⑦喜多方駅(9:10)～⑧FMきたかた前～⑨諏訪神社前～⑩コメリ松山店前～⑪北町公園前～⑫岩月農協倉庫前～活動センター着(9:45)

帰り センター(3:10発)
行きと逆コース

※曜日により多少コースが変更になることがあります。

お問い合わせ・申し込み先

喜多方市高齢者生産活動センター
喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1 ☎0241-24-2297

陶芸教室開講のご案内

塩川支所・山都支所では、陶芸教室会員を募集しております。

会員同士の楽しいおしゃべりはもちろんの事、土の感触を楽しみながら、それぞれの思い思いの作品づくり。

形や釉薬によって、同じ作品が出来ないのも陶芸の醍醐味。一緒に生きがい健康づくりを目的に趣味を広げてみませんか?

募集期間 平成28年2月1日～3月31日
(開講後、見学してからの入会も可)
開講期間 平成28年4月下旬～11月下旬
会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方

【問合せ・申込みは下記までお願いいたします。】
喜多方市社会福祉協議会
塩川支所 ☎0241-27-3948 山都支所 ☎0241-38-3100



高齢者生産活動センターセンター展のお知らせ

平成28年新会員の募集に合わせて、実際の活動を体験していただく機会を設けました。施設見学や活動内容についてもグループごとに対応いたしますので、センター展の期間中、活動センターへお越し下さいますよう、ご案内いたします。

場所 喜多方市高齢者生産活動センター
(喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1)
期間 平成28年3月8日(火)～11日(金)
時間 午前10時～午後3時

お問い合わせ先 喜多方市高齢者生産活動センター
☎0241-24-2297
(担当)小檜山、花見

編集発行 社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会
〒966-0043 喜多方市字上江3646番地1
TEL 0241-23-3231 FAX 0241-23-3296

メールアドレス info@kitakata-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.kitakata-shakyo.or.jp/

●熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112 FAX 0241-36-2776
●塩川支所 TEL 0241-27-3948 FAX 0241-27-3948
●山都支所 TEL 0241-38-3100 FAX 0241-38-3137
●高郷支所 TEL 0241-44-7111 FAX 0241-44-7112